

《計画概要》

1 推進目標：地域も関わり合える福祉学習の充実

【取り組み内容】

(1) 継続的な福祉学習・福祉教育の実践《重点項目》

小中学校全校を福祉教育実践普及校に指定し、小学校から中学校へと段階的、継続的な福祉教育を実践していただく環境を整えるとともに、地域や関係機関と連携した福祉教育の支援に取り組みます。

(2) 認め合える心を育む

小中学校、関係機関とさらに連携を強化し、児童、生徒が自分達も地域の一員であるということの認識や理解を深め、相手の立場になって考え行動できる思いやりの心を育みます。

(3) 福祉に触れる学びの実践

児童、生徒に早い段階からボランティア体験や活動している人と接する機会を提供することにより、ボランティア活動への理解と関心を持ち、積極的に参加できるよう取り組みます。

○福祉教育推進事業の実施

- ・福祉教育実践普及校の指定及び福祉教育実践研究会・発表会の開催
- ・福祉作文の募集と表彰
- ・福祉(体験)学習の支援
- ・小・中学生のためのボランティア体験教室の開催

○次世代支援事業の実施

- ・文化伝承事業への協力

2 推進目標：地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

【取り組み内容】

(1) ボランティア育成の推進

ボランティア活動を身近に意識し、市民一人ひとりが社会における役割を見出し、生きがいを持って積極的に社会参加できるようボランティアの育成に努めます。

(2) ボランティア活動支援の充実《重点項目》

ボランティア活動が推進されるよう情報提供を積極的に行うとともに、必要に応じて遊具等の貸出しを行うなど、支援内容を充実させボランティア活動を支援します。

(3) ボランティアセンター機能(仕組み)の充実

地域や関係機関と連携して、生活の不安や困りごとのニーズの把握に努めるとともに、ボランティア登録制を推進し、ボランティアを必要としている方とボランティア活動を希望する方との調整機能の充実を図ります。

○ボランティア活動支援事業の実施

- ・ボランティア養成講座の開催
- ・ボランティア登録による支援活動のコーディネート
- ・ボランティア保険の加入促進

○遊具等無料貸出事業の実施

3 推進目標：気軽に参加できる地域づくりの充実

【取り組み内容】

(1) 地域や居場所づくりへの支援

住み慣れた地域において、子どもや高齢者、障害の有無にかかわらず、すべての住民が守られ、支え合い誰もが安心して生き生きとした人生を送ることができる地域づくりを支援します。また、何らかの生活課題を抱えている方を対象としたサロンや交流事業などの居場所づくりを

支援します。

(2) 地域資源・社会資源の発掘

地域には、趣味や特技等を持つ多くの人材がいます。そうした方々の役割を見出し、地域や社会の資源として地域貢献のきっかけづくりをサポートします。

(3) 地域支援・団体支援

助成制度等を通じて、町内会やボランティア団体等の活動を支援します。

○市民福祉フォーラムの開催

○地域サロン支援事業の実施

・地域サロン等実施団体への支援

・サロン活動の実施

○地域支え合い活動助成事業の実施

4 推進目標：一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

【取り組み内容】

(1) 相談機能の充実

情報交換会等を通して他の相談機関や相談員同士の連携を強化するとともに、各種制度と連動することにより相談機能を充実、強化します。

(2) 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

生活に困窮する世帯の方が、問題解決のための糸口を探り、安定した生活が維持できるよう関係機関と連携し、各種支援事業・制度を活用し自立に向けた生活支援を行います。

(3) 高齢者や障害者がある世帯への生活支援の充実

高齢者や障害のある方とその世帯に対し、安心した生活が地域で送れるよう権利の擁護を図りながら、市民と協力し見守り活動や交流会、サポート事業などを通して生活支援を行います。

○ひとり暮らし高齢者会食のつどいの実施

○高齢者夫婦世帯研修・交流会の開催

○愛の福祉短期貸付事業の実施

○車いす無料貸出事業の実施

○善意銀行の運営

○ふれあい福祉センター相談事業の実施

○岩沼市生活困窮者自立支援事業の受託実施

○生活福祉資金貸付事業の受託実施

○日常生活自立支援事業（まもり一歩）の受託実施

○岩沼市自発的活動支援事業の受託実施

○歳末助け合い配分金事業の実施

5 推進目標：地域福祉を推進する連携・協働の充実

【取り組み内容】

(1) 連携・協働の関係づくり

地域住民をはじめ関係機関や各種団体などの相互理解を深め、互いに協力し合い福祉を高めていくことの大切さを共有し、連携、協働による地域福祉を推進するための関係づくりに努めます。

(2) 連携・協働による地域福祉の推進 《重点項目》

町内会等と連携して地域課題を共有し、課題解決に向けて共に考え、共に取り組める関係づくりに努め、地域福祉を推進します。

(3) 共同募金委員会・老人クラブ連合会との連携・協働の推進

岩沼市共同募金委員会と連携強化を図り活動財源の確保に努めるとともに、地域福祉活動を

推進します。また、岩沼市老人クラブ連合会と連携、協働して地域福祉を推進します。

- ふれあいの広場の開催
- 町内会連携地域福祉活動モデル事業の実施
- 岩沼市生活支援体制整備事業の受託実施
- 岩沼市共同募金委員会の事務受託及び事業への協力
- 岩沼市老人クラブ連合会の事務受託及び事業への協力

6 推進目標：地域を支えるための基盤強化

【取り組み内容】

(1) 広報啓発活動の充実

社協だよりやホームページの内容の充実に努めるとともに、特に各種講座、サロンの案内やボランティアに関する情報提供に力を入れ、必要な情報が必要なときに届けられるよう、また、多くの人に地域福祉を身近に感じてもらえるよう、他の情報伝達媒体等も活用し効率的な情報発信に努めます。

(2) 自主財源の確保と役職員の情報の共有化

未加入の市民や企業等に社協活動を理解していただき、趣旨に賛同して社協会員として加入いただけるよう取り組み、自主財源の確保に努めます。また、介護保険制度の動向を注視しながら、利用者の満足度を高めるとともに利用者の確保に努め、安定した運営の維持を図ります。さらに、各種研修などを通して役職員の共通理解を深め、情報の共有化を図ります。

(3) 地域福祉活動計画の周知・進行管理

地域福祉活動計画の進行管理については、令和2年度から5カ年を計画期間とする第2次計画の年にあたり、第1次計画における事業の進捗状況を踏まえ、関係機関及び団体、市民の代表などの協力を得ながら事業の評価、見直しを図り、計画の策定と適切な進行管理に努めます。また、市民に対し社協だより等を活用し、計画の周知に努めます。

○広報啓発事業の実施

- ・社協だよりの発行
- ・ホームページの活用
- ・社協まちなか通信の発信

○地域福祉活動計画の推進

- ・地域福祉活動計画の策定及び進行管理
- ・地域福祉活動計画の周知

○法人運営事業の推進

- ・経営・財政基盤の強化

○役職員の研修事業の実施

○CSW（地域支え合い活動）支援職員養成事業の実施

○居宅介護支援事業の実施

○岩沼市デイサービスセンターさとのもりの指定管理及び運営

○岩沼市地域包括支援センター事業の受託実施（岩小学区）